

## 悪夢の見分け方

夢の世界の詐術を理解するには、まずは洋画の「インセプション」を見ておくのがおすすすめよ。

あの映画は話の中盤で「夢の世界」の詐術に引っ掛けるやり口や仕組みを話しているからね。  
(あのやり口は夢世界を通して他人を害したりエネルギーや知識や才能を奪うには最適なやり口よ)

内容を簡単に説明するなら、夢で人を騙すには「ギミックによる誘導」が有効なの。

例えば…

- ・ いたいけな子供が出てきて「こっちにいこうよ？」と情に訴えて呼びかけたり。
- ・ 警官が出てきて「取り調べをするからこちらに來い」と高圧的に強要したり。
- ・ 老婆が出てきて「この場所は危険だからこちらにきなされ」と不安を煽って誘導したり。
- ・ 「その所持品は不吉だから私が預かるう」とか親切心にかこつけてモノを奪ったり。

おおよその場合、自分が今いる夢世界から他人の作り出した夢世界へと移動させるように唆すわ。

いわば口八丁手八丁でホームからアウェイに飛ばされるようなモノね。

宇宙刑事でいうと「なんたらかんたら空間にひきずりこめーっ！」ってやつね。  
(ネタが古かったわね…！)

そうやって手を変え品を変えてあなたをアウェイの夢世界にひきずりこんだり罫を張った空間に連れこむわけね。

これがさらに狡猾になると…。

いじめられている子供（この子自体は害意は無い）をギミックにして、その子供に同情するように仕向ける。

↓

その子供を黒幕が操り、そそのかして「子供の住む村」などのアウェイのフィールドに移動させる。

↓

村長（黒幕）が「この子は呪われているから解呪するために洞窟に行ってほしい」などと言って、さらにフィールド移動をさせる。

こんな感じに何度もフィールド移動をさせて段階的に夢のエリアをズラして深い罠にはまらせる手法もあるわ。

こうした狡猾な手法を見つける最大の鍵は「嫌な感じがするかどうか」ね。

どんな見た目をしても、  
どんな言動をしても、  
どんなバックグラウンドがあったしても…  
それらは全て関係が無く「いい感じがするか嫌な感じがするかどうか」だけで判断していいわ。

どんな見た目の子供でも「嫌な感じ」がすれば、それは罠の可能性が高いわね。  
特に警戒すべきは高圧的な態度ね。  
特に「教師」や「上司」や「警官」など、立場を利用してあなたに何かをさせようとする存在は基本的には全て悪意ある罠で、あなたに害を与える存在だと認識して構わないわ。

「まともな世界」では基本的に全ては平等だから、いきなり上から目線で高圧的な態度で接するなんて問題外だからね。

だから夢で出てきた相手があなたに高圧的な態度を取ったり、あなたの意にそぐわない事を強要させたり、あなたを不機嫌にさせるなら、それらは全て怪しい罠だと認識して構わないわ。  
(特に警官の登場が一番クサいから、警官が出てきた瞬間にギルティの判断をしても構わないわよ)

こうした事態が起きたら、即座に魔法使い入門シーズン1の2巻ブレードや、シーズン3の5巻ワールドハンマーなどでぶっ叩いたり切り裂くのも安定ね。

こうした罠は目がさめてしまえば子供騙しに思えても、夢を見ている最中は意外に気付けないものだからね。

だから今回の夢技法では夢の世界を自動で守ってくれるガーディアンである「夢守」を作り出したり、夢の世界をオートで守ってくれる幾つかの技法を教えていくわ。

これがあればあなたの夢フィールドの安全性が格段にアップするし、不本意な形で夢世界の叡智やエネルギーを吸われるのを回避できるからね。